

取扱説明書

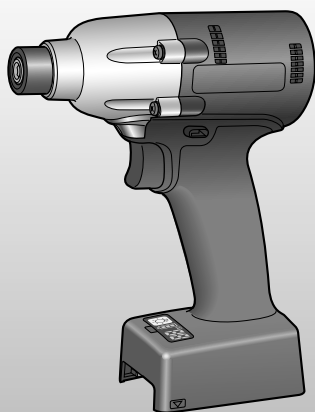
<工場用>

充電インパクトドライバー

品番 EZFLA1A・EZFLA1N
EZFLA2A・EZFLA2N

充電インパクトレンチ

品番 EZFLA2Q・EZFLA3J



※ イラストは充電インパクトドライバーです。

- このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～6ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意.....2～6

各部のなまえとはたらき7～9

・別売品8～9

リチウムイオン

電池パックを充電する 10

ご使用前のリモコンの準備 11

ご使用前の本体の準備 11

ご使用方法 12

作業終了 13

本体パネルの機能について

・LEDライトを利用する 14

・電池残量ランプの見かた 14

・電源自動停止機能 14

本体の設定をする 15

トルク制御機能の使いかた 16

締付トルク目安表(参考値) 18

2度締め防止機能の使いかた 19

初期化設定 19

本体の設定状態を確認する 20

お手入れ・保管 21

電池パックについて 21

能力・仕様 22

エラー表示について 23

故障かな?と思ったとき24～27

アフターサービス裏表紙

ご使用前に

使いかた

お手入れ・保管



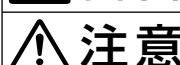
お知らせ

点検方法



安全上のご注意 必ずお守りください




人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。




	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。







■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)




	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。


	
	禁止
	<ul style="list-style-type: none">●当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わない。●電池パックは、火への投入、加熱をしない。●電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。●電池パックの端子部を金属などで接触させない。●電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しない。●電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	必ず守る
	<ul style="list-style-type: none">●電池パックは専用充電器以外では充電しない。 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。●本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付ける。 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

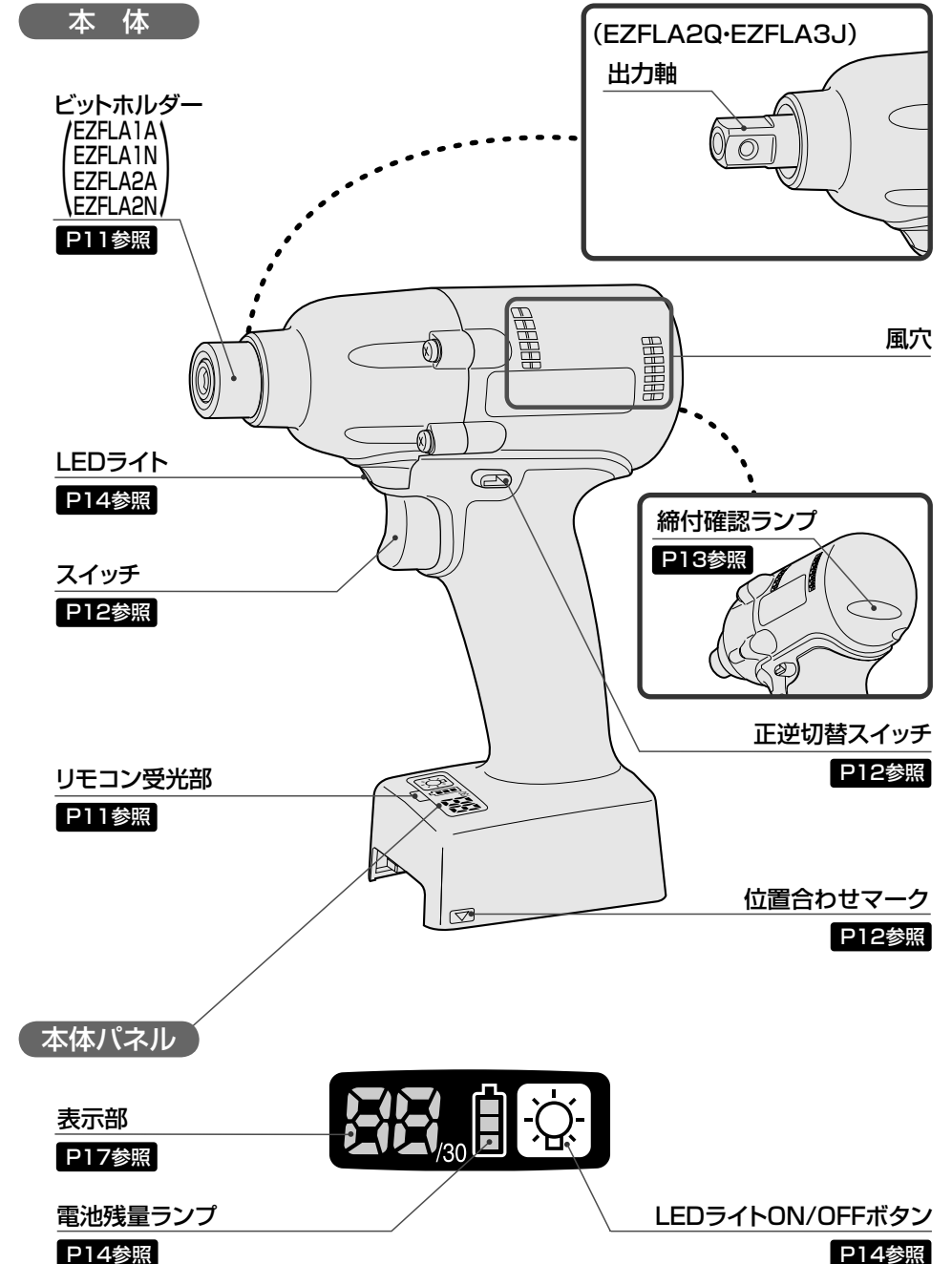
	
	必ず守る
<ul style="list-style-type: none">●トルクの日常管理を行なう。 守らないとトルク変動によるボルト緩みが生じ、事故の原因になります。	

	
	必ず守る
	<ul style="list-style-type: none">●作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。●ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。 守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。<ul style="list-style-type: none">・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">●作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。 埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。 守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。 守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグは根元まで確実に差し込む。 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグのほこり等は定期的にとる。 プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	<ul style="list-style-type: none">●指定の付属品やアタッチメントを使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●作業する場所は十分に明るくする。 暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●加工するものはしっかり固定する。 不意に動き、けがをするおそれがあります。 安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	禁止
<ul style="list-style-type: none">●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●換気のない場所で充電しない。 ●充電中、電池パックや充電器を布などで覆わない。 ●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。 ●可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体または充電器の風穴をふさがない。 やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。 ●作業直後はビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。 高温になっており、やけどをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、パナソニック電工お客様ご相談窓口にご相談ください。
 分解禁止	
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●雨中や、湿ったまたはぬれた場所で、使用したり充電したりしない。 感電や発煙のおそれがあります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●指定された用途以外に使用しない。 けがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●LEDライトを懐中電灯として使用しない。 十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●LEDライトの光を直接目に当てない。 LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。 回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。 不意に外れたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●モータがロックするような無理な使いかたはしない。 発煙、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●細径ドリル使用時はドリルに無理な力をかけない。 折れると飛散して、けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電池パックは赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。 守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。

<div style="text-align: center;">  注意 </div>	
<div style="display: flex;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; align-self: center; font-weight: bold;">必ず守る</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。守らないとやけどをするおそれがあります。複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。 </div> </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書に従い確実に取り付ける。確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業する場所はきれいに保つ。散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。守らないと事故やけがのおそれがあります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。使用前にコードの破損が無い点検してから使用してください。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。 </div>	
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。守らないと滑ってけがの原因になります。 </div>	

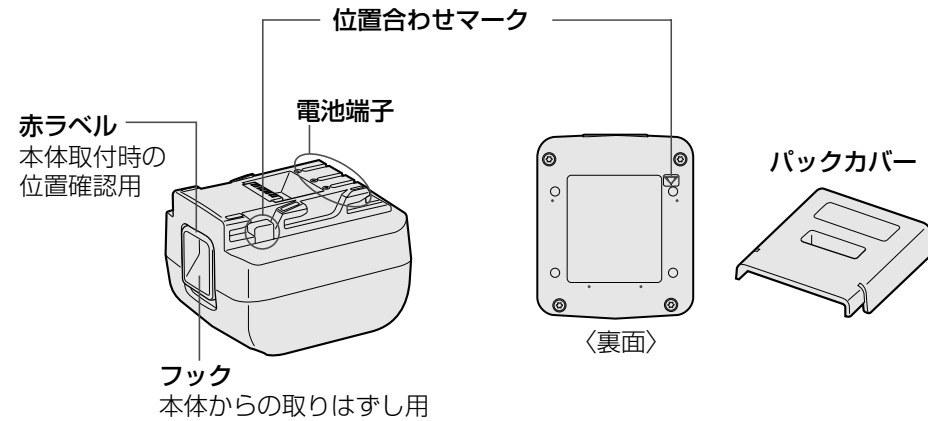


各部のなまえとはたらき(つづき)

別売品

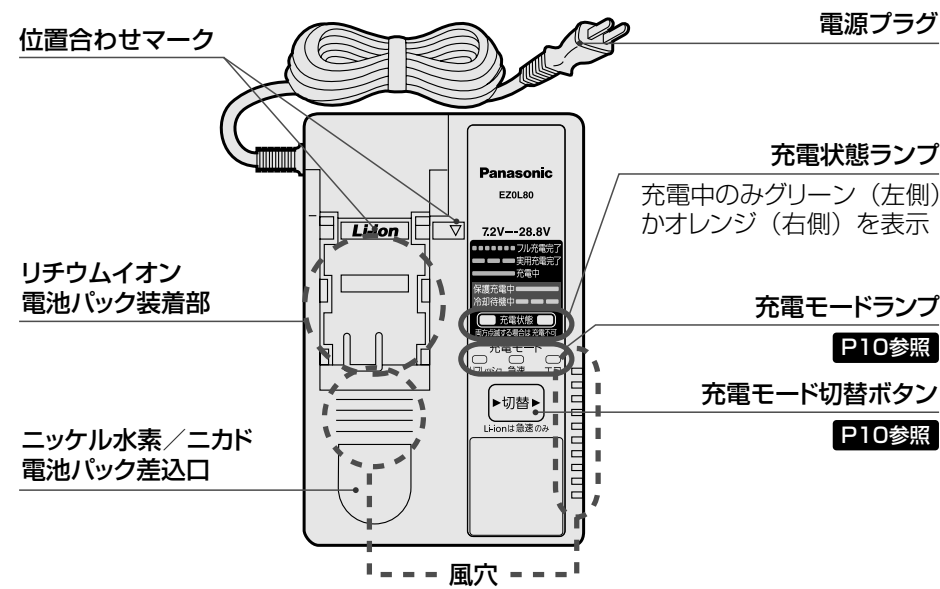
電池パック

P21 参照



充電器

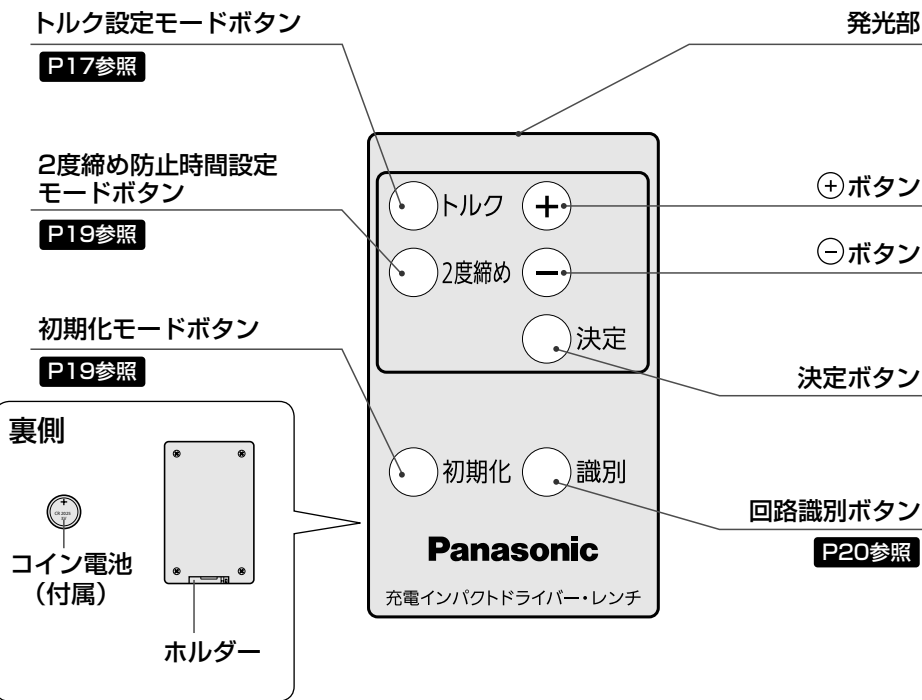
P10 参照



別売品

ワイヤレスリモコン

※ ワイヤレスリモコンを本書内では「リモコン」と記載しています。



別売品一覧

リチウムイオン電池パック(10.8V) EZFB30	本体プロテクター EZFA01-A(青)、-Y(黄)、-H(グレー)
急速充電器 EZOL80	電池プロテクター EZFA02-H(グレー)
ワイヤレスリモコン EZFA30	
コイン電池(付属) CR2025	

リチウムイオン電池パックを充電する

ニッケル水素電池パックやニカド電池パックの充電方法は充電器の取扱説明書をお読みください。

充電の前に

(EZFB30を充電する場合)
5～40℃の場所で充電してください。

電池パックの温度が5℃以下の場合は充電できません。5℃以上の場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。**裏表紙参照**
- 電池パックは2個同時に充電できません。2個装着した場合は一旦両方はずし、一方のみ装着してください。

お知らせ

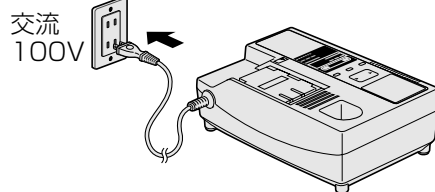
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

充電する

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

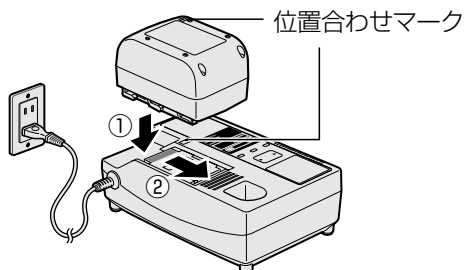
1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのいずれかが点灯。



2 電池パックを充電器に装着する

- ① ㊦マークを合わせて差し込む
- ② 底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプの「急速」が点灯。
(リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。)
- 充電状態ランプが充電状態を表示。

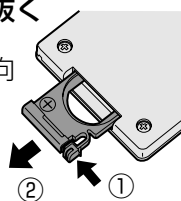
3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

ご使用前のリモコンの準備

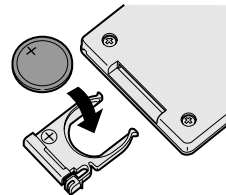
コイン電池(付属)を入れる

1 ホルダーを引き抜く

- ① ツメ部分を矢印の方向に押さえながら
- ② ホルダーを手前に引き抜く



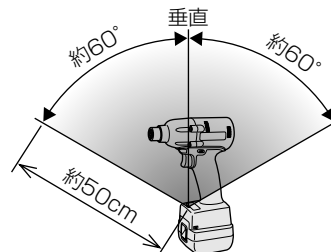
2 電池を入れて、ホルダーを戻す



お知らせ

- ワイヤレスリモコンを本体のリモコン受光部の近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池(CR2025)が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- 付属のコイン電池はお試用のため、使用時間が短い場合があります。

ワイヤレスリモコンが使える範囲



リモコン受光部に対して、
距離: 約50cm以内
角度: 垂直方向から前後左右に約60°

- 次の場合、この範囲内であっても操作できない場合があります。
 - ・リモコンの発光部と受光部の間に障害物がある
 - ・リモコン受光部に強い光が当たっている(屋外など)
 - ・リモコンの発光部・受光部が汚れている

ご使用前の本体の準備

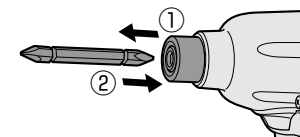
1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



2 ビット・ソケットを取り付ける

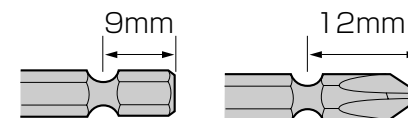
■ビット(EZFLA1A・1N・2A・2Nの場合)

- ① ビットホルダーを引っ張りながら
- ② ビットを差し込む
- ③ ビットホルダーを離す

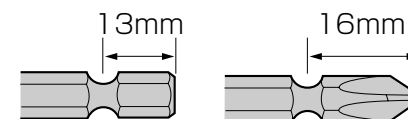


- ビットを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

ビットは別売品です。
下記仕様のビットをご使用ください。
EZFLA1A・EZFLA2A



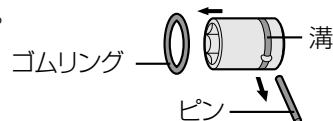
EZFLA1N・EZFLA2N



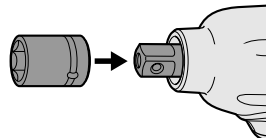
ご使用前の本体の準備(つづき)

■ソケット(EZFLA2Q・3Jの場合)

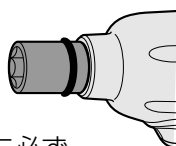
- ①ソケットのゴムリングとピンをはずす。



- ②ソケットを本体に差し込む。
(互いの穴の位置を合わせてください。)



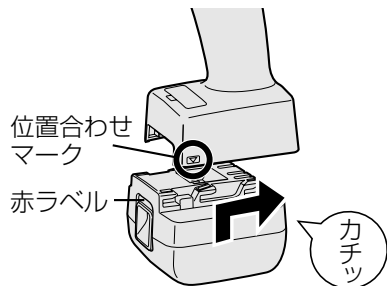
- ③①と逆の手順でピンとゴムリングを取り付ける。



- ピンが抜けないように必ず、
ゴムリングをはめてください。

3 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。

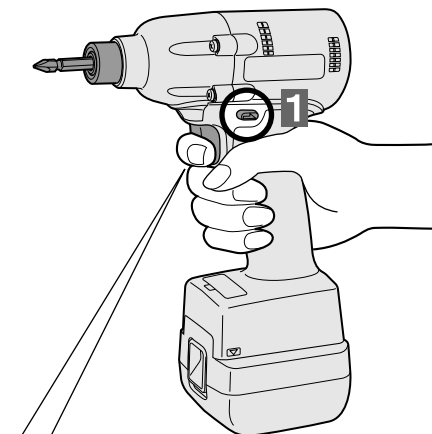
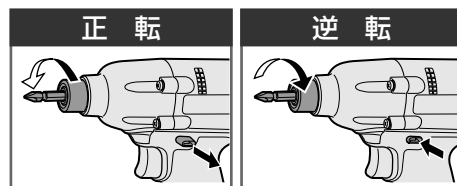


4 必要に応じて本体パネルまたはリモコンで機能の設定をする

- LEDライト **P14参照**
- トルク制御機能 **P16参照**
- 2度締め防止機能 **P19参照**

ご使用方法

1 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れる



- スイッチを引き込むと回転。
- スイッチをはなすとブレーキが作動。

お知らせ

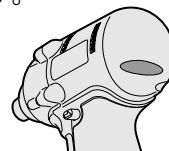
- トルク制御機能使用時はスイッチを引くと急激に回転数が上がります。

ご注意

- 正逆切替スイッチの操作はモーターが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での操作は故障の原因になります。

締付確認ランプ

- 締付確認ランプで、トルク制御機能が作動したかどうか確認することができます。



本体の状態	ランプの表示
締付完了 (トルク制御機能作動)	緑点灯 (約2秒)
締付未完了	赤点灯 (約2秒)
1秒以内の2度締めによる締付完了	
電源自動停止機能が作動している	赤点灯 (約5分)

ご注意

- 打撃が発生した締付途中にスイッチを離し、再度1秒以内にスイッチを引いて自動停止した場合には、2度締めによる締め付け過ぎのおそれがあるため、赤ランプが点灯します。

お知らせ

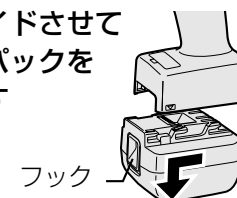
- 次の場合、締付確認ランプは点灯しません。
・トルク段数設定が“F”のとき
・逆転作業時
- スイッチを引くとランプは消灯します。

作業終了

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



2 フックを押し下げながら電池パックを本体前方にスライドさせて電池パックをはずす

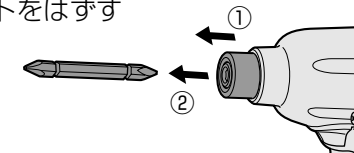


3 ビット・ソケットをはずす

■ビット

(EZFLA1A・1N・2A・2Nの場合)

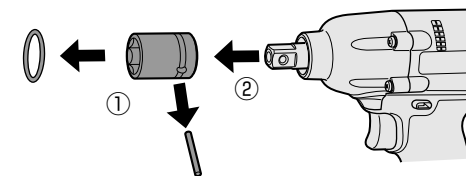
- ①ビットホルダーを引っ張りながら
②ビットをはずす



■ソケット

(EZFLA2Q・3Jの場合)

- ①ソケットのゴムリングとピンをはずす。
②ソケットを本体からはずす。



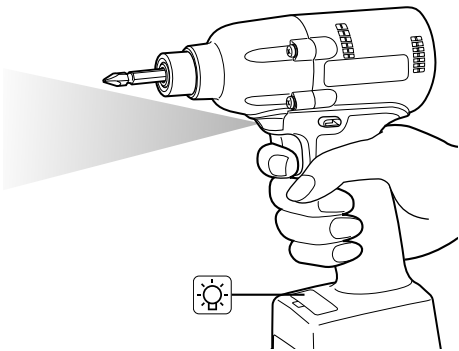
本体パネルの機能について

本体パネル内のすべてのランプが
消灯しているときは、電源がOFFの
状態です。スイッチを引いて一度動作
させてから操作してください。

- 次の場合、電池の消耗をおさえる
ため電源がOFF状態になり、LED
ライトとすべての表示が消えます。
・電池パック取り付け直後
・約5分何も操作しなかったとき

LEDライトを利用する

☀️を押すたびに
ライトが点灯／消灯する



お知らせ

- ライト点灯中に、何も操作しない状態
が約5分経過すると、自動的に消灯し
ます。
- ライトは微小電流で点灯します。本
体作業能力にはほとんど影響ありま
せん。

電池残量ランプの見かた

- 電池残量を確認することができます。
- 電池残量は、周囲温度、電池特性等
で多少異なりますので、目安として
ご使用ください。

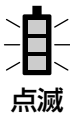
電池残量ランプ	
表示状態	電池残量
	十分な状態
	約40%以下の状態
	約20%以下の状態 (充電時期の目安) ⇒早めに電池パックを 充電してください。
	電池残量なし ⇒電池パックを充電 してください。 (※電源自動停止機能が作動)

※ 電源自動停止機能の説明は下記

電源自動停止機能

- 電池電圧の低下による、締付トルク低下を
防止する機能です。この機能が作動すると
電池パックを充電(または別の充電された電池
パックと交換)するまではスイッチを引いても
本体は動きません。

表示状態



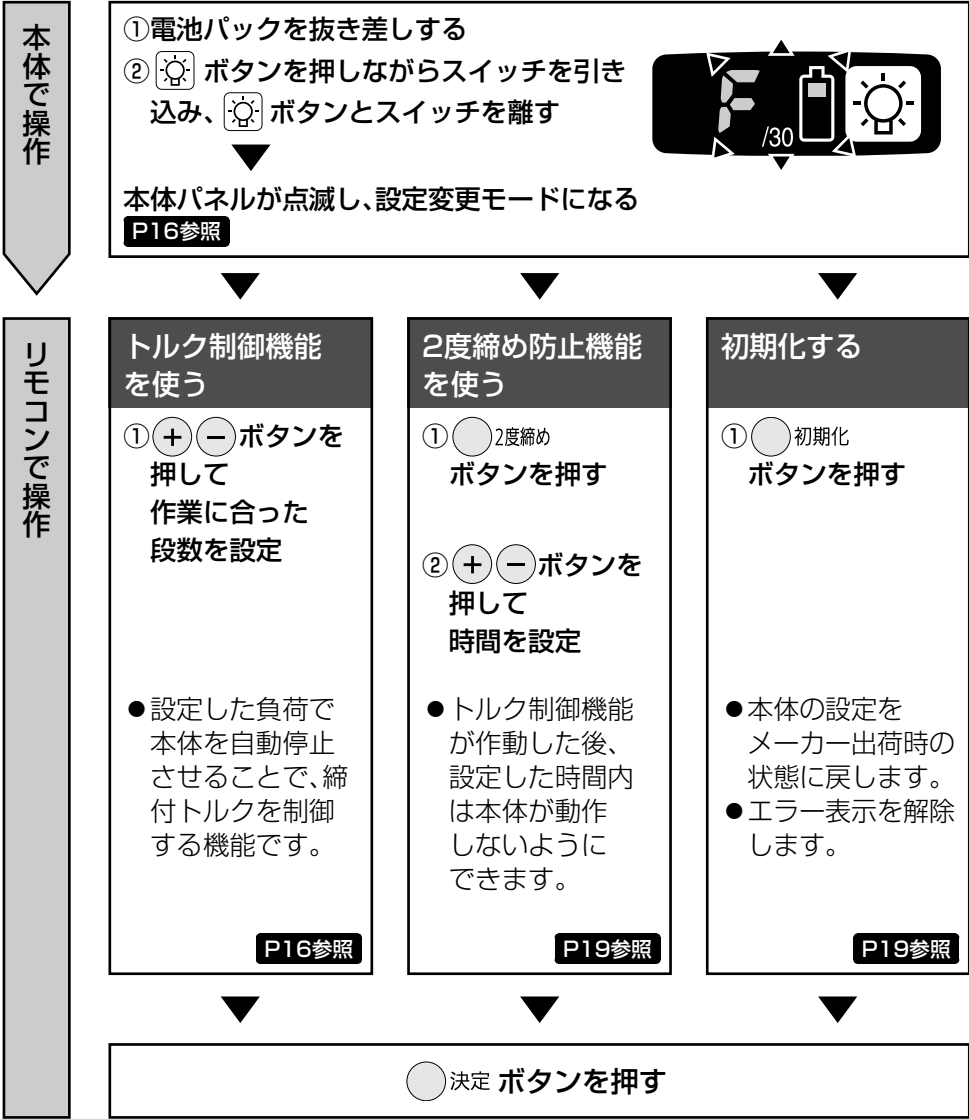
お知らせ

- 電源自動停止機能が働くと、電池残量
ランプが3つとも点滅します。
- ランプが点滅したときは、すぐに電池
パックを充電(または別の充電された
電池パックと交換)してください。
- 電源自動停止機能が働いた電池パック
は充電完了まで充電してください。充
電が不十分だと電源自動停止機能が解
除されない場合があります。

本体の設定をする

作業に合わせて設定を変更できます

設定の流れ



お知らせ

- リモコンで操作中、⊖トルク／⊖2度締め／⊖初期化 ボタンを押して、操作する機能を
切り替えることもできます。

使
い
か
た

トルク制御機能の使いかた

トルク制御機能とは・・・

- ハンマ打撃間のモータ回転角度から負荷を算出し、設定した負荷値を超えるとボルトの着座と判断します。その後、設定値に応じた打撃回数を加えて自動的に止める仕組みになっています。

警告

- トルクの日常管理を行なう。
守らないとトルク変動によるボルト緩みが生じ、事故の原因になります。

ご注意

- スイッチは最後まで引き込んだ状態で作業してください。スイッチの引き込みが不十分な場合、トルク制御機能は作動せず、自動で止まりません。
- 締付途中の負荷が高い作業では、途中負荷を着座と判定してボルトが締まりきらない場合があります。
- 部材の異なる作業では、同じ設定トルク段数でも締付トルクが異なる場合があります。
- 同じボルトを2度締め付けした場合、締め付け過ぎによるボルト折れ、相手部材の変形等が起こる場合があります。
- 締付トルクは作業状況により変動します。実際の作業で調整してください。
- ボルトの締付トルクは下記要因により変化します。

1) ボルト

- ボルトの径：一般に径が大きくなると締付トルクが増加します。
- トルク係数(ボルトメーカーで表示)、等級、長さなど。
- 座金の有無、種類

2) その他

- ビット、ソケットの状態
：材質、ガタなど。
- ユニバーサルジョイント、ソケットアダプターの使用。

- 使用者
：ボルトへの工具の当てかた、工具を保持する強さ、スイッチの引き具合。
- 締付物の状態
：材質、座面仕上がり。

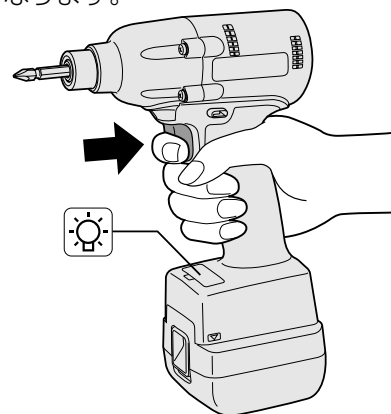
本体を設定変更モードにする

1 本体パネルを消灯状態にする

- パネルが点灯している場合は、一度電池パックを取りはずし、再度取り付ける。

2 ボタンを押しながらスイッチを引き込み、 ボタンとスイッチを離す

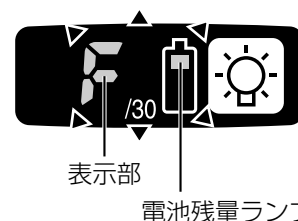
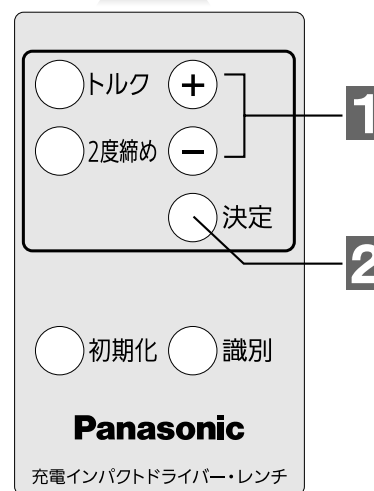
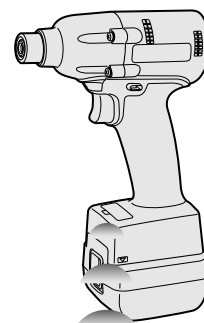
- すべてのLEDランプが点灯後、本体パネルが点滅し設定変更モードになります。




お知らせ

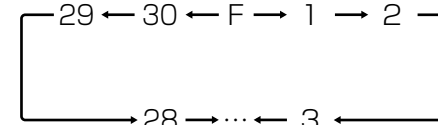
- メーカー出荷時は「F」(トルク制御機能解除)に設定されています。
- この状態で5分間何も操作をしないと本体パネルは消灯状態になります。

トルク段数の設定を行なう



1 ボタンを押して作業に合った段数を設定する

 ボタンを押すたびに  ボタンを押すたびに



- Fはトルク制御機能解除状態です。
- トルク段数設定は30段階(1～30)で設定できます。
- 設定の目安として、締付トルク目安表をお使いください。 **P18参照**

2 決定ボタンを押して、設定段数を確定させる

- 本体パネルが点滅から、点灯に変わります。

お知らせ

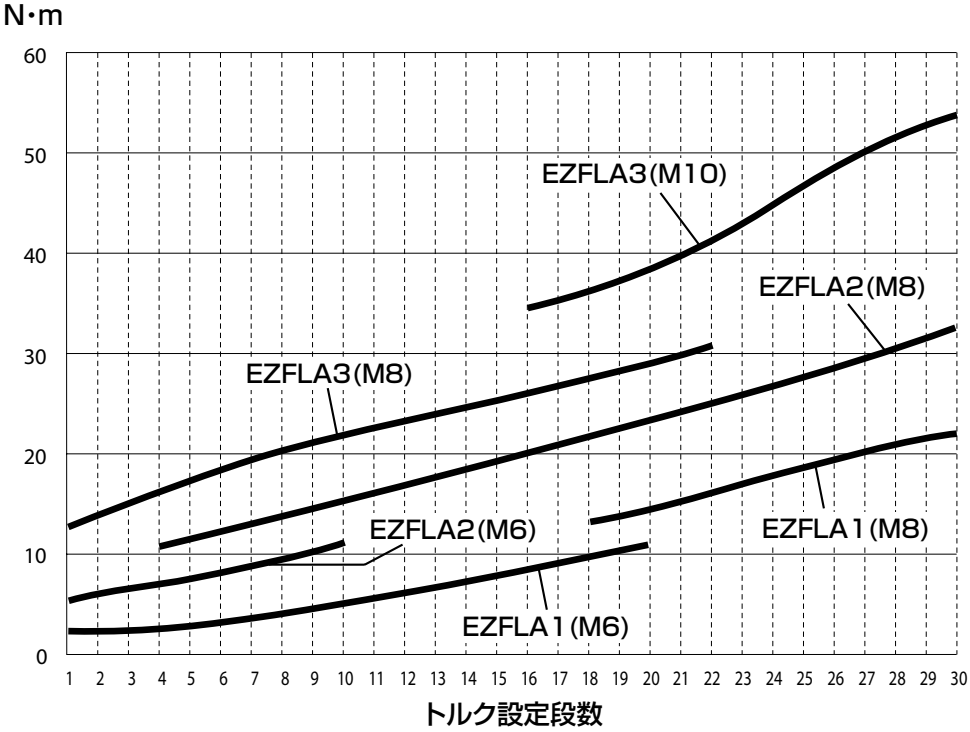
- 決定ボタンを押す前に、2度締め防止時間 **P19参照** を変更してから決定ボタンを押すと、トルク段数と2度締め防止時間を一度に設定することができます。

ご注意

- 決定ボタンを押さないと設定の変更はされません。
- 設定変更後は必ず設定値を確認してください。 **P20参照**

締付トルク目安表(参考値)

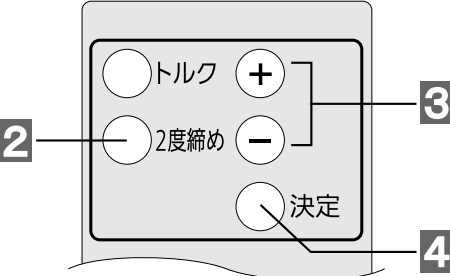
本データは下記測定条件のもとで測定した参考値です。
実際の作業では、周囲条件(締付ボルト・部材・固定方法等)により、変化します。



測定条件	●トルク計:U社製 ハードジョイント
	●温度:室温(20℃)

2度締め防止機能の使いかた

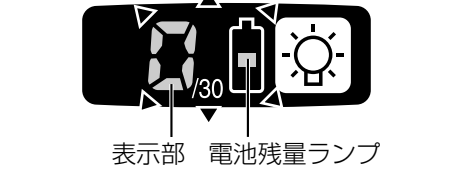
- トルク制御機能が働き、本体が自動停止した後、設定した時間内はスイッチを引いても本体が動きません。



1 本体を設定変更モードにする
P16参照

2 2度締め防止時間設定モード
ボタンを押す

- 本体パネルが点滅状態になります。
 - ・表示部 : 0が点滅
 - ・電池残量ランプ : 中段が点滅



3 (+) (-) ボタンを押して時間を
設定する

操作	表示	秒数
+	30	3秒
	}	}
	1	0.1秒
-	0	OFF

4 決定ボタンを押して設定を確定
させる

- 本体パネルが点滅から点灯に変わり、その後、トルク段数設定値が表示されます。

ご注意
●設定変更後は必ず設定値を確認してください。
P20参照

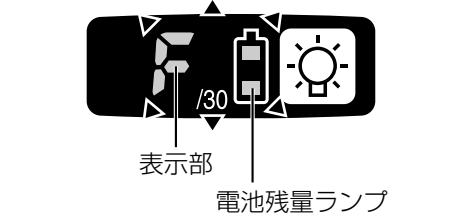
初期化設定

- 本体の設定をメーカー出荷時の状態に戻します。
- エラー表示 P23参照 を解除します。

1 本体を設定変更モードにする
P16参照

2 初期化ボタンを押す

- 本体パネルが点滅状態になります。
 - ・表示部 : Fが点滅
 - ・電池残量ランプ : 上段と下段が点滅



3 決定ボタンを押して設定を確定
させる

- 本体パネルが点滅から点灯に変わります。

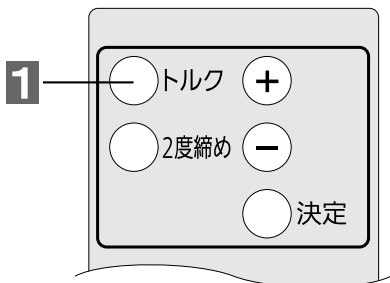
メーカー出荷時の設定	
●トルク段数設定	⇒F(トルク制御機能解除状態)
●2度締め防止時間設定	⇒0(OFF)

本体の設定状態を確認する

- 本体停止時、約3秒間現在設定されている設定値を表示します。
- 本体パネルが消灯状態になっている場合、設定状態の確認はできません。一度スイッチを引いて、点灯状態にしてください。

トルク設定段数の確認

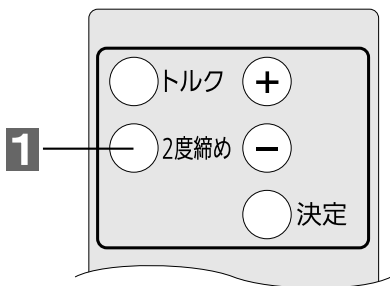
1 トルク設定モードボタンを押す



- 本体パネルの表示状態
・表示部 : トルク設定値が点灯
・電池残量ランプ : 上段が点滅

2度締め防止時間の確認

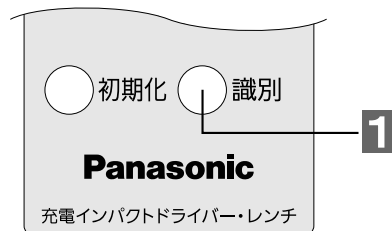
1 2度締め防止時間設定モードボタンを押す



- 本体パネルの表示状態
・表示部 : 2度締め防止時間設定値が点灯
・電池残量ランプ : 中段が点滅

本体回路の確認

1 回路識別ボタンを押す



- 本体パネルの表示状態
・表示部 : 回路識別表示が点灯
・電池残量ランプ : 中段と下段が点滅

表示	本体回路
H2	EZFLA1用
H3	EZFLA2用
H4	EZFLA3用

お知らせ

- 設定値を表示中にスイッチを引くと、トルク段数設定表示に戻ります。

ご注意

- 回路表示は駆動部(ハンマーなど)の種類を識別するものではありません。

お手入れ・保管

お手入れのしかた

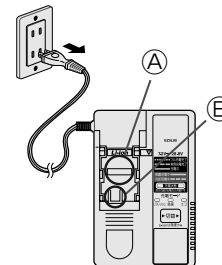
やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)



充電器の電池パック装着部・差込口内部のゴミを取り除く

- 電源プラグをコンセントから抜く。



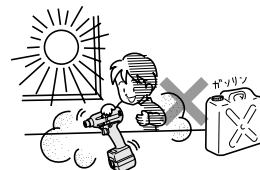
リチウムイオン電池パック装着部

- カバーを押さえてAとBの部分にある端子を露出させる。
- A: ブラシなどで端子に無理な力がかからないようにゴミを取り除く。
- B: 布などでゴミを取り除く。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



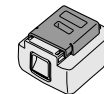
電池パックについて

⚠ 危険

- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、**充電せずに保管**してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。
- リチウムイオン電池パックは再使用の前にフル充電をしてください。



電池パックの寿命

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは寿命です。
新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池パックリサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないで買い求めの販売店へお持ちください。(電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。)



本製品の使用電池

- 名称: 密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧: 3.6V
- 数量: 6本

本体能力

品番	EZFLA1	EZFLA2	EZFLA3
おすすめ作業	ビス M5(普通～高力ボルト) M6(普通～高力ボルト) M8(普通ボルト)	M6(高力ボルト) M8(普通～高力ボルト)	M8(高力ボルト) M10(普通ボルト)
最大締付トルク ^{※1}	約40N・m(M10・ボルト3秒締付時)	約90N・m(M14・ボルト3秒締付時)	約120N・m(M14・ボルト3秒締付時)
トルク制御機能作動範囲	約3～22N・m	約6～30N・m	約16～53N・m
締付トルク精度 ^{※2}	±25%	±25%	±25%
作業量・スピード	約1200本／パック 約0.7秒／本 (M6:10N・m、トルク設定段数19)	約800本／パック 約0.8秒／本 (M8:23N・m、トルク設定段数22)	約500本／パック 約0.9秒／本 (M10:43N・m、トルク設定段数23)

<測定条件>測定器:U社製 ハードジョイント 温度:室温(20℃)
※1 F(トルク制御機能解除)時
※2 締付トルク5N・m以上での当社測定条件による目安値です。締付トルク精度は作業状況により変動します。ご使用前に必ず実際の作業で確認してください。

本体仕様

品番	EZFLA1		EZFLA2			EZFLA3
	A	N	A	N	Q	J
適用ビット・レンチ寸法(単位:mm)	片頭9 両頭12	片頭13 両頭16	片頭9 両頭12	片頭13 両頭16	□9.5	□12.7
モータ電圧	DC10.8V					
回転数 (単位:回転/分) []内は目盛	[1]: 0～950 [2]: 0～1,000 [3～5]: 0～1,050 [9～30・F]: 0～2,300	[6]:0～1,300 [7]:0～1,450 [8]:0～1,550	[1]: 0～1,300 [2]: 0～1,450 [3]: 0～1,550 [4～30・F]: 0～2,300	0～2,300		
打撃数 (単位:回/分) []内は目盛	[1]: 0～1,900 [2]: 0～1,950 [3～5]: 0～2,100 [9～30・F]: 0～4,000	[6]:0～2,500 [7]:0～2,800 [8]:0～3,000	[1]: 0～2,500 [2]: 0～2,800 [3]: 0～3,000 [4～30・F]: 0～3,600	0～3,000		
質量(重量) ^{※3}	約1.3kg					約1.35kg
大きさ(概略寸法) 全長×全高×幅 ^{※4}	約158×248×φ59mm		AN:約158×248×φ59mm Q:約164×248×φ59mm			約164×248×φ59mm

※3 電池パック(EZFB30)装着時
※4 電池パック最大幅 約75mm

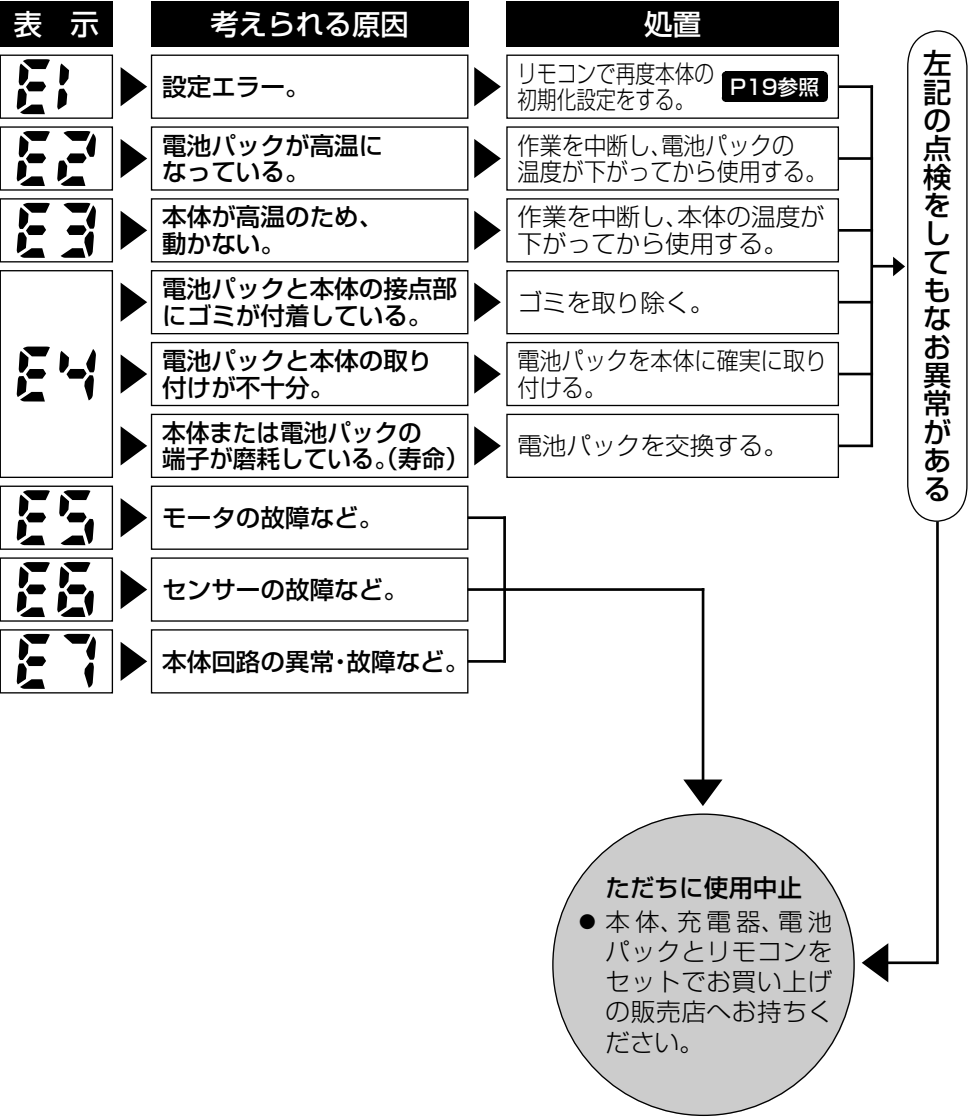
ワイヤレスリモコン仕様

品番	EZFA30	質量(重量)	約29g(コイン電池含む)
電源	DC3V	大きさ(概略寸法) 全長×全高×幅	約54×86×10mm

充電器仕様

品番	EZOL80	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg
充電時間	実用充電:約20分 フル充電:約45分 ※測定条件 電池パック:EZFB30 温度:室温(20℃)		

本体、電池パックに異常がある場合、本体パネルにエラー表示が点滅します。
修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。



状 状		考えられる原因	処 置	
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン：速い点滅)になります。	左記の点検をしてもなお異常がある
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。 テレビ・ラジオから離して充電する。	
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。 P21参照	
	充電中に冷却待機中の状態になる。 (オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックが熱くなっている。	周囲温度が5～40℃の場所で充電する。 電池パックの温度が下がると自動的に充電を開始します。	
	充電できない。	5℃以下の電池パックを充電した。	電池パックを5℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がってから再度充電する。	
作 業 時	動かない。(エラー表示が点滅)		エラー表示を確認する。 P23参照	
	トルク制御機能で自動停止した後、スイッチを引いてもすぐに動かない。	2度締め防止機能が働いている。	2度締め防止機能を解除する。 P19参照	
	動かない。 (電池残量ランプが点滅する)	電源自動停止機能が働いている。 (電池パックの残量が少ない)	電池パックを充電する。 P10参照	
		電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。	
	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パック取付直後や、5分以上何も操作していない。	スイッチを引く。	
		電池パック装着後、1回も作業していない。	充電する。 P10参照	
		電池パックを充電していない。	新しい電池パックを購入する。 P9参照	
		電池パックが故障している。	作業に合ったトルク段数に設定する。 P16参照	
	フル充電しているのに締めトルクが弱い。または回転が遅い。	トルク制御機能が動作している。		

ただちに使用中止

- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

症 状		考えられる原因	処 置	
作 業 時	本体パネルの表示が正しくない。	▶ 高圧線の近くなど、電磁波の影響を受けている。	▶ 故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。	左記の点検をしてもなお異常がある
	スイッチを切ると、停止音ができる。	▶ ブレーキの動作音です。	▶ 故障ではありません。	
	フル充電してもネジ締めの本数が少ない。	▶ ネジの頭からビットがはずれやすい。	▶ 新しい先端工具と交換してください。	
		▶ 電池パックの寿命。	▶ 新しい電池パックを購入する。 P9参照	
	ボルトが締まりきらない。	▶ トルク制御機能のトルク段数設定が作業に合っていない。	▶ 作業に合ったトルク段数に設定する。 P17参照	
		▶ ボルトが締まりきる前に大きな負荷がかかっている。	▶ この作業にトルク制御機能は使用できません。F(トルク制御機能解除状態)で使用してください。	
		▶ ハンマー磨耗による性能低下(寿命)	▶ 締付トルクを確認してください。	
ボルトが締まりすぎる。	▶ トルク制御機能のトルク段数設定が作業に合っていない。	▶ 作業に合ったトルク段数に設定する。 P17参照		
	▶ 同じボルトを2回締め付けている。	▶ 2度締めはしないでください。		
トルク制御機能が作動しない。 (本体が自動的に停止しない)	▶ スイッチを最後まで引き込んでいない状態で使用している。	▶ スイッチを最後まで引き込んだ状態で使用してください。		
リモコン使用時	本体の設定変更ができない。	▶ 本体が設定変更モードになっていない。	▶ 本体を設定変更モードにしてください。 P16参照	
		▶ リモコンの電池切れ	▶ コイン電池を交換してください。 P11参照	
		▶ リモコンの発光部、または本体の受光部が汚れている。	▶ 汚れをふきとってください。	
		▶ リモコンの操作範囲外で使用している。	▶ リモコンが使える範囲内で使用してください。 P11参照	
その他	● 電源プラグをコンセントに差し込んでも充電モードランプが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に充電モードランプも充電状態ランプも点灯・点滅しない。		● 「冷却待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン:点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。	ただちに使用中止 ● 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

点検方法

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

■補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電インパクトドライバー・充電インパクトレンチの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

24～27ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電池パックをはずして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	充電インパクトドライバー・充電インパクトレンチ		
品 番	EZFLA1(A・N)	EZFLA2(A・N・Q)	EZFLA3J
お 買 い 上 げ 日	年 月 日		
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に		

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・相談先がなくお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

商品に関するご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時～20時

フリーダイヤル パナは 365日

電 話  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は…

06-6907-1187

フリーダイヤル

FAX  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444

Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/
national holidays)

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくための、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社

製造元 パナソニック電工株式会社 パワーツール事業部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

パナソニックホームページ <http://panasonic.jp/>